



2月の園だより

2018. 2. 1
認定こども園ポートピア

「天神様」

2月といえばまず「節分」が頭に浮かびますが天神様の日もあります。

天神様は学問の神様として親しまれていますが誰を祀っているか知っていますか？



そうです！菅原道真（すがわらのみちざね）です。道真は体が弱かったのですが勉強は良くできたため、33歳で博士号を取り、大臣にまで登りつめました。しかし、この出世を快く思っていなかった藤原時平一族に冤罪を仕掛けられて失意の内に生涯を閉じます。

その後、京都では疫病が流行したり雷が落ちるなどして時平一族が全員亡くなったので人々は「道真様の祟り！」と恐れ、魂を鎮めるために北野天満宮を作って道真を祀りました。また道真は梅の花をこよなく愛していたので天満宮には梅の木が多く植えられています。2月25日は天神様の日です。梅の花を愛でながら、賢い子どもになるように・・・志望校に受かりますようになど道真様にお願いするとご利益があるかもですね。

園長 中 恵津子

「就学前までに培いたい3つの柱と10の姿が示されています」

登園してきた時の持ち物の始末を4歳、5歳になっているのに保護者がすべて片付けて、子どもはさっさと遊びに行っているといった光景を見かけます。自分の事が自分でできないと小学校に行き困るのは子どもです。子育ての終着点は「子どもの自立」と言われます。「自分の事は自分でする」は基本中の基本です。就学前までに子どもが「自分で考え、自分で行動し、その結果に対して自分で責任を持つ」能力を培うようにと新しい指針に明記されています。小学校の教育の方向性も「自立力」「自主性」を重視した授業の在り方に変わりつつあります。急いでいる時は、ついつい手を貸してしまいがちですが最初に丁寧にやりかたを知らせておけば自分でできるようになります。何でも大人がしてしまうと依存してしまうので2歳児の「自分で！」の頃から出来ることはさせてあげるようにしましょう。

実習生受入

2月13日（火）～23日（金）神戸女子短大

2月19日（月）～3月2日（金）夙川学院短大



2月の行事

- 2日（金） 豆まき
- 5日（月） 身体計測（0.1歳）
- 6日（火） 身体計測（虫グループ）
交通安全教室（3～5歳）
- 7日（水） 身体計測（花グループ）
- 8日（木） 弁当日
- 15日（木） 誕生会
- 27日（火） 避難訓練





今月のねらい

0歳児

養護：感染症や一人一人の健康状態に留意し、寒い時期を健康に過ごせるようにする。
 : 自分の思いを簡単な言葉やしぐさで伝え、受け止めてもらうことで安心して過ごせるようにする。
 教育：天気の良い日には戸外に出かけ、体を動かしたりいろいろな自然に触れたりして遊ぶ。
 : いろいろな物を使って見立て遊びをする。
 生活：オムルや便器に座することに慣れる。



異年齢グループ(2歳児～5歳児)

養護：一人一人の体調に留意しながら冬期の感染症の予防に努める。
 : 仲間意識を大切にし、子どもの葛藤や自己主張を大切にしながら受け止めていく。
 教育：友達との関わりを深め、様々な活動に意欲的に取り組む。
 : 寒さに負けず戸外で身体を動かしたり、冬の自然に積極的に関わったりして楽しむ。
 生活：身の周りの事を自分で意欲的にしようとする。

1歳児

養護：体調の変化に留意し、換気や消毒をこまめにを行うことで、感染症予防に努める。
 : 自分でしようとする気持ちを大切にし、出来たことを認め意欲に繋げる。
 教育：言葉や身振りで思いを表現し、伝えようとする。
 生活：衣服の着脱など身近なことを自分でしてみようとする。



3歳児

教育：寒さに負けず友達と一緒に体を動かして思い切り遊びを楽しむ。
 生活：生活の見通しを持ち、身の回りのことを自分でしようとする。



2歳児

養護：手洗い、うがいの大切さを知り、保育者と一緒に行いながら感染症予防に努め、寒い時期を健康に過ごせるようにする。
 : 一人一人の気持ちを十分に受け止め、安心して自分の気持ちを表現できるようにする。
 教育：友達との関わりを深めながらごっこ遊びや集団遊びの中でルールのある遊びや言葉のやり取りを楽しむ。
 : 冬の寒さを感じながらも体を動かすことの楽しさを体感し、保育者や友達と遊ぶ。
 生活：“自分でする”ことに自信を持ち、意欲的に身の回りのことをしようとする。

4歳児

教育：友達と意欲的にかかわり共通の目的をもって遊びを進めようとする。
 生活：生活に必要な習慣を身に付け、自分で行おうとする。

5歳児

教育：仲間意識が高まり、お互いを認め合いながら遊びを進めていく楽しさを味わう。
 : 就学への期待や園生活の思い出を感じながら卒園式に向けての取り組みをする。
 生活：感染症予防に関心を持ち、基本的生活習慣を身に付け、自主的に行動しようとする。

- I I 便利 -

《米のとぎ汁を流さない》 文責 岡野

米の最初のとぎ汁を2回流した後に水筒か缶めずレハなどで
 度々100Lの水が必要!! 1回目のとぎ汁はバケツなどで
 撮っておく。洗米したものを植木(土の肥料)か水かきに使えろ。

《洗い物でできるエコ》



・お皿は拭いてから。



お皿に付いた汚れは不要な紙布、野菜果物の皮で
 拭き取ってから洗えば水が少なくて済みます。



・洗ったお皿は重ねる。

・洗ったお皿は重ねる。洗ったお皿は重ねる。

・繰り返し使えるお皿のカップ → シリコン製のカップが繰り返し使えます。